

令和6年2月14日提出

令和6年2月市議会定例会

別 冊 参 考

議案第7号 緊急防災工事計画の策定について

島 田 市

令和6年度 新規

緊急防災工事計画書

農村地域防災減災事業
(ため池整備事業)

おがわいけ
尾川池 地区

事業主体	島 田 市
------	-------

目		次	
第1章	目 的	6. 級地別土地利用区分	16
第2章	地域及び地積	7. 土地配分計画	17
第1節	地 域	第3節 用水計画	17
第2節	地 積	1. 計画基準年	17
第3章	現 況	2. 計画かんがい方式	17
第1節	気象及び海象	3. 計画用水系統	17
1.	一般気象	4. 計画用水量	17
2.	特殊気象	5. 水源計画	18
3.	海 象	第4節 排水計画	21
第2節	土地状況	1. 計画基準雨量	21
1.	地形、土壌及び浸食の程度	2. 計画排水方式	21
2.	土地分類	3. 計画排水系統	21
3.	土地利用の状況	4. 計画排水量	21
4.	土地所有の状況	5. 排水対策	21
第3節	水利状況	6. 湛水検討	22
1.	用水状況	第5節 道路計画	22
2.	排水状況	1. 道路及び索道	22
3.	河川状況	2. 路線配置図	22
第4節	道路現況	第6節 農用地造成計画	23
1.	道路概況	1. 農用地造成計画	23
2.	主要道路一覧表	2. 土壌改良	23
第5節	地域農業の概況	第7節 洪水調節計画	23
1.	産業別就業人口	1. 計画基準雨量	23
2.	経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	2. 計画洪水量及び調節量	23
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	3. 貯水池	23
4.	主要作物作付状況	4. 洪水調節検討	24
5.	農業の動向	5. 管理計画	24
第6節	地域環境の概況	第8節 干拓計画	24
第4章	一般計画	第9節 農用地整備計画	24
第1節	事業計画の要旨	1. 区画整理	24
1.	要 旨	2. 暗渠排水	25
2.	事業別面積	3. 客 土	25
第2節	営農計画及び土地利用計画	4. 農地保全	25
1.	営農計画の概要	第10節 老朽ため池改修計画	26
2.	土地利用区分	1. 洪水吐改修計画	26
3.	作付方式	2. 堤体補強計画	26
4.	生産計画	3. 取水施設改修計画	26
5.	労働改善計画	第5章 主要工事計画	27
		第1節 用水施設	27
		1. 貯水池	27
		2. 頭首工	27

3.揚水機	27	第3節 換地計画樹立の基本方針	37
4.用水路	27	1.従前の土地の面積の基準	37
5.その他かんがい施設	28	2.用途別予定地籍	38
第2節 排水施設	28	3.農用地集団化の方針	38
1.排水水門	28	4.非農用地の換地方法	38
2.排水機	28	第4節 土地の評価及び清算の方法	39
3.排水路	28	1.評価の方法	39
4.その他排水施設	28	2.清算の方法	39
第3節 道路及び索道	29	第5節 換地計画樹立の年度計画	39
1.道路	29	第6節 換地処分の時期に関する特則	39
2.索道	29	第10章 事業費の総額及び内訳	40
第4節 農用地造成	29	第11章 効 用	41
1.農用地造成	29	第12章 関連する事業	41
2.土壌改良	30	第13章 現況・計画図面	41
第5節 洪水調節施設	31	1.計画一般図	42
1.貯水池	31	2.計画平面図・標準断面図	43
2.頭首工及び導水施設	31	3.土地利用計画図	45
第6節 干拓施設	31		
1.堤 防	31		
2.潮止め	31		
3.付属施設	31		
4.埋 立	32		
第7節 農用地整備施設	32		
1.区画整理	32		
2.暗渠排水	33		
3.客 土	33		
4.除 礫	33		
5.農地保全	34		
第8節 老朽ため池改修施設	35		
1.貯水池	35		
2.堤体補強施設	35		
第6章 附帯工事計画	35		
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	35		
第8章 環境との調和への配慮	36		
第9章 換地計画の概要	37		
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	37		
第2節 換地区の設定	37		
1.換地区の名称,所在,面積	37		
2.換地区を設定する理由	37		

第1章 目 的

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時には、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は、全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくないほか、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域 (第1表)

事 業 名	地 域
農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)	島田市 尾川 地内

第2節 地 積 (令和5年8月 現在) (第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原 野	山 林	その他	計	備 考
	市町村名	(ha)						
農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)	島田市	9.5					9.5	尾川池
合 計		9.5	-	-	-	-	9.5	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(気象庁HP「過去の気象データ」より)

観測所名	静岡地方気象台	かんがい期 5月～9月	非かんがい期 10月～4月	年間 合計/平均	備考
観測期間	1985～2021				
平均気温		22.4	11.6	16.8	
降水量	平均	1499.2 mm	834.8 mm	2334.0 mm	
	基準年				
降水日数 (1.0mm以上)	平均	67日(月平均 11日)	44日(月平均 7日)	111日(月平均 9日)	
	基準年				
無霜期間(平年値)					
最多風向		NE	最大瞬間風速 33.7m/s(SW)		最多風速:1985～2021(16方位) 最大風速:1985～2021(16方位)

2. 特殊気象

観測所名	静岡地方気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
観測期間	S25～R3															
最大時間雨量	(mm)	111.5	H15.7.4 1	1/407	83.5	H3.9.14 2	1/42	81.5	H16.6.30 9	1/35	76.0	S49.7.7 22	1/23	73.5	S62.8.6 3	1/18
最大4時間連続雨量	(mm)	283.5	H15.7.4 0～3	1/688	253.5	S49.7.7 22～25	1/258	189.0	H16.6.30 7～10	1/31	162.4	S29.9.18 18～21	1/13	161.0	S58.6.24 3～6	1/13
最大日雨量	(mm)	401.0	R1.10.12	1/142	368.0	H16.6.30	1/80	318.0	H14.7.10	1/33	297.5	S57.9.12	1/23	288.5	H13.9.10	1/20
最大連続雨量	(mm)	508.0	S49.7.7 ～7.8	1/92	497.0	R27.9.10 ～9.12	1/81	414.0	R1.10.11 ～10.12	1/30	368.0	H16.6.30 ～6.30.14	1/17	363.5	H26.10.5 ～10.6	1/16
最大連続干天日数	(日)	55.0	H17.11.7 ～12.31	1/163	51.0	S.48.11.11 ～12.31	1/87	44.0	S61.1.5 ～2.17	1/29	41.0	H23.1.1 ～2.10	1/18	40.0	S37.1.2 ～2.10	1/16
三日連続雨量	(mm)	518.0	S49.7.6 ～8	1/92	497.0	S57.9.10 ～12	1/70	463.0	H15.8.14 ～16	1/45	414.0	R1.10.11 ～13	1/24	398.0	S58.8.15 ～17	1/20

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低位 (m)	備考
	年～年								
実測値									

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考		
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3°～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低	
										8°～10°	10°～15°	8°～15°							
農村地域防災 減災事業 (ため池整備事業)	面積 ha		9.5				9.5										74.9	60.8	
	比率 %		100				100												
合計	面積 ha		9.5	-			9.5												
	比率 %		100				100												

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備考		
	土 壤 断 面										事 業 名					
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性				泥炭層,黒泥層 及び グライ層	堆積様式	母材	農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)			計	
					表土 一層	下層土 二層	三層	...								
宮原統	灰色	なし	あり	なし	CL	CL				-			9.5		9.5	
居林1統	暗褐色	あり	なし	なし	LiC	CL	CL			-						
居林2統	暗褐色	あり	あり	なし	LIC	CL	CL			-						
計													9.5		9.5	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 浸 蝕 の 程 度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

級別別 市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二 級 地			三 級 地			四 級 地					
		3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)		15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)		30° 以上 (ha)			
計												は傾斜以外の 要因によるもの	

該当なし

(第4表-2-2)

級別別 市町村名	干				拓	計 (ha)	備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)			
計							

3. 土地利用の状況

(令和5年8月 現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	樹園地 (ha)	茶 園 (ha)	その他 の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農村地域防災減 災事業 (ため池整備事 業)	島田市	9.5	-									9.5	(尾川池地区)	
												-		
												-		
合 計		9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.5		

4. 土地所有の状況

(令和5年8月 現在)

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有	部落所有	市町村所有	国所有	計	備考
	区分							
農村地域防災 減災事業 (ため池整備事業)	面積 (ha)		9.5				9.5	
	受益者数 (人)						-	
	筆数 (筆)		-				-	
	権利関係		なし				-	
	備考 (関係戸数)						-	
合計	面積 (ha)		9.5				9.5	
	受益者数 (人)						-	
	筆数 (筆)		-				-	
	権利関係		なし				-	
	備考 (関係戸数)						-	

第3節 水利状況

1. 用水状況

.....
現況と同じ

(1)用水系統

.....
現況と同じ

(2)用水施設

(ア)取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権 (最大)		慣行水利権		延べ取水量	備考
		10ha 以上		5~10 ha		5ha 未満		箇所	ha	箇所	m3/S	箇所	m3/S	m ³ /S	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防災 減災事業 (ため池整備事業)	貯水池			1	9.5			1	9.5						尾川池 地区
	井 堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
合 計		-	0.0	1	9.5	-	0.0	1	9.5						

(イ)改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模		新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名					堤長	堤高			
農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)	貯水池	尾川池	9.5	前刃金型	堤長 38.50m	堤高 7.5m	H4	耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす状況である。 また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。		
	井堰									
	自然取入口									
	揚水池 用水路 その他									
合計			9.5							

(3)用水に関する被害状況

(ア)用水不足による被害状況

該当なし

(第5表-3-1)

事業名	系統名 項目	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /S)	基準年 (m ³ /S)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
合計										

(イ)その他の被害状況

該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 ()		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

(4)ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域防災減災事業 (ため池整備事業)	9.5	-	5.0	14.5	6,277	-	31,358	-	99,337	136,972	
合計	9.5	-	5.0	14.5	6,277	-	31,358	-	99,337	136,972	

2. 排水状況

該当なし

(1)排水系統

該当なし

(2)排水施設

(ア)排水方法一覧表

該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m3/S)	現況排水能力 (m3/S)	備考
			500ha 以上		500ha ~ 100ha		100ha 未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
		計											
合計													

(イ)改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	施設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計								
合計									

(3)排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状(ha)						平均減産量		備考	
					湛水深 (m)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)		
									乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均															
			基準年															
			平均															
			基準年															
合計		0.0	平均															
			基準年															

3. 河川状況

(1) 河川の状況

該当なし

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /S)	既往最大洪水量 (m ³ /S)	備考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

項目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

該当なし

2. 主要道路一覧表

該当なし

(第6表)

No.	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	道熱電 供気 給ガ 業水ス (人)	運 通 信 輸 業 (人)	飲卸 売食小 売店業 (人)	金保 険 融業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
島田市	18,209	203	15	5	17	1,203	5,214	110	1,140	3,648	373	241	5,305	594	141	令和2年度 国勢調査
計	18,209	203	15	5	17	1,203	5,214	110	1,140	3,648	373	241	5,305	594	141	
比率(%)	100.0	1.115	0.2032			6.607	28.634	0.604	6.261	20.034	2.048	1.324	29.134	3.262	0.774	



2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

項目 市町村名	農家総戸数	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		専業別農家戸数 (戸)			備 考
		例外規定の適用 を受けるもの ha	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当り団地数	団地当り面積	専業	兼業		
																						第1種	第2種	
島田市	2,342	10	293	347	187	148	179	147	31	1	3	996	0.2	0.0	0.7	0.9	0.0	0.9			403	169	784	2020年 農林業センサス (R2)
計	2,342	10	293	347	187	148	179	147	31	1	3	996	0.2	0.0	0.7	0.9	0.0	0.9			403	169	784	
比率(%)	100.0	0.4	12.5	14.8	8.0	6.3	7.6	6.3	1.3	0.0	0.1	42.5	22.2	0.0	77.8	100.0	0.0	100.0			29.72	12.46	57.82	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具										主要家畜								備考
	トラクター		動力田植機		コンバイン						乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)									
島田市	694	668	690	680	397	389					0	1	470	5	0	0	0	1	2020年農林業センサス(R2) 動力農機具について未掲載のため 2015年を記載
計	694	668	690	680	397	389					0	1	470	5	0	0	0	1	
100戸当たり数量(台)	104		101		102														台/戸数
利用戸数割合(%)	28.5		29.0		16.6						0.0		0.2		0.0		0.0		戸数/農林業経営体数×100

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 名		島田市				計	平均	作付率 (%)	備 考
総耕地 面積 (ha)		2,123			2,123	2,123			
総本地 面積 (ha)		2,068			2,068	2,068			
作物名	区 分	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量		
		(ha)	(kg/10 a)	(ha)	(kg/10 a)	(ha)	(kg/10 a)		
田	表作	水稻	510	515			510	515	25%
	裏作								
	小 計	510				510			
畑		冬レタス	134	3,390			134	3,390	6%
		大豆	2	104			2	104	0%
		小 計	136				136		
樹園地									
		小 計							
計		646				646		32%	
市町村別延べ作付率 (%)		32%							

農林水産関係市町村別統計(令和元年産)
総耕地面積
作付面積・単位面積当たり収量
総本地面積の算定
・本地面積 / 総面積 (島田市)
3,400 / 3,490 = 0.9742
総耕地面積 × 0.9754 = 総本地面積
本地面積記載最終年度
第37次 静岡農林統計年報(H元)P28 参照

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B (H27)	A (現在)		B (H27)	A (現在)	作物名	B (H27)	A (現在)	家畜名	B (H27)	A (現在)	農機具名	B (H27)	A (現在)		
変化 の 状況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	89	71	耕地	92	79	水稻	94	87	乳用牛	-	-	動力田植機	78	78	A:現在 令和2年 (農林業センサス2020) B:平成27年 (農林業センサス2015) C:平成22年 (農林業センサス2010)	
	専業農家数	110	55	田	85	78	冬レタス	99	108	肉用牛	-	67	トラクター	85	85		
	第一種兼業 農家数	65	33	畑	159	244	大豆	133	67	豚	-	-	コンバイン	98	98		
	第二種兼業 農家数	91	84	樹園地	92	76				採卵鶏	25	-					
	農 業 従事者数	55	87														
変化 の 理由	社会経済の発展や農業構造の発展が進み、他産業への就労機会の増大により総農家数が減少傾向にある。			基盤整備等による変化			営農形態の変化			生産環境の変化			農業経営の変化による				

第6節 地域環境の概況

市街地の背後に位置する森林は、木材の供給はもとより、土砂流出などの国土の保全や野生鳥獣の生息地になっているとともに、市街地への新鮮な大気の供給などの公益的機能を持ち、その大切さが認識されてきている。

しかし、市街地の周辺においては、都市的な土地利用への転換に伴って樹林地が徐々に減少しつつあり、また、地権者の高齢化や薪炭林としての利用価値が失われたことなどにより管理が放置され、荒廃した樹林地が多くなっている。荒廃した樹林地は、樹木が密生してうっそうとし、人が近づきにくい環境であるとともに、様々な機能を持った森林空間としての存在価値も著しく低下していると考えられる。

このようなことから、本市の市街地を取り巻くまとまった森林は、都市的な発展と調和させ、保全・活用を図るための方策を検討し、自然環境との共存共生システムを次世代へと受け継いでいくことが重要である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

耐震性点検の結果より、現況堤体の安定計算結果では、地震時の安全率1.2を下回る結果となっており、被災時においては、堤体の崩壊に伴い下流域に被害を及ぼす恐れがある。付帯施設についても、堤体の改修に合わせた一体的な施設整備が望まれている。

また、静岡県は全域が東海地震防災対策強化地域かつ南海トラフ地震防災対策推進地域であり、東海地震はいつ発生してもおかしくない地震、南海トラフ地震は30年以内の発生確率が70%程度と言われているため、施設の耐震整備が急務となっている。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農村地域防災減災事業						ため池整備事業						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	山林 (ha)	市街地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
ため池改修	9.5					9.5							9.5	尾川池
計	9.5					9.5							9.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

該当なし

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)											
農村地域防災減災事業 ため池整備事業	現況	9.5	-					9.5				9.5	尾川池
	計画	9.5	-					9.5				9.5	
計	現況	9.5	-					9.5				9.5	
	計画	9.5	-					9.5				9.5	

3. 作付方式

播種 定植× 収穫

(第9表-2)

事業名	項目	地目	区分 作物	1 年 目												2 年 目											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				農村地域防災減災事業 ため池整備事業	現況	水田(表)	水 稲					x	x	x	x	x	x	-					x	x	x	x	x
計画	水田(表)	水 稲						x	x	x	x	x	x	-					x	x	x	x	x	x	-		

4. 生産計画

該当なし

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳		備考
	地目名			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減量	単位面積当り収量増加	
				水田	表作												
	裏作																
普通畑	春夏作																
	秋冬作																
	計																

5. 労働改善計画

該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 地目名	作物名	作付面積	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人				
				力				
				機				
				械				
				人				
				力				
				機				
				械				
				人				
				力				
機								
械								
計			0.0					

6. 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成					干拓					備考
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
	田											
	輪換耕地											
	畑											
	普通畑											
	牧草畑											
	樹園地 (果樹園)											

7. 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)									備 考
		田	輪換耕地	畑						計	
				普通畑	牧草畑	樹園地					

第3節 用水計画

1. 計画基準年

該当なし

2. 計画かんがい方式

該当なし

3. 計画用水系統

該当なし

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

該当なし

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別 農村地域 防災減災 事業 ため池整 備事業	面積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい			田 畑 輪 換					消 費 水 量 (m3/S)	損 失 量 (m3/S)	粗用水量		備 考
		事業名	普通期	代掻期	面 積	1日当り 計画平均 かん水深	平均 間断 日数	面 積	水 田 かん がい			畑 地 かん がい						
		計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 単位用水 量 (mm/日)	積	積	積	普通期	代掻期	積	1日当り 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)						
		計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 単位用水 量 (mm)				普通期	代掻期					積					

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積			日当り給水量		補給回数	関係戸数	備考	
		事業名			単位給水量	最大給水量				
				計						

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m3)	有効雨量 b (千m3)	純用水量 c = a - b (千m3)	粗用水量 d = (1 - a) (千m3)	現況利用可能水量			不足量		水源保存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量 e (千m3)	田畑面 利用可能量 f (千m3)	純不足量 g = c - f (千m3)	全不足 水量 h = d - e (千m3)	水源名	水量 (千m3)		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			有効貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	田	畑・その他	計					
尾川池	0.133	-	9.5	-	9.5	9.8			0.060	
計	0.133	-	9.5	-	9.5					

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積	かんがい面積 (ha)			取水量		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事業			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)		
			地区内	地区外	計				
								-	

(ウ) 揚水機

該当なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量		揚水機				備考
		事業			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		地区内	地区外	計							

(工)用水路

該当なし

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最 通 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
	地区内	地区外	計				

(オ)その他の水源

該当なし

(3)水温水質

該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 該当なし
- 2. 計画排水方式 該当なし
- 3. 計画排水系統 該当なし
- 4. 計画排水量

該当なし

(第11表-1)

排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (ha)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m3/s)		基底流量 (m3/ha)		全洪水量 (m3/s)			単位排水量 (m3/s/ha)		備考
	事業			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	農地	その他	計									自然排水	機械排水			
計																

5. 排水対策

(1)排水水門

該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
				計						

(2)排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機			備考
		事業			排水量 (m3/S)	地区内たん水深 (m)	名称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計						

(3)排水路

該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計 排 水 量 (m3/S)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事業						名 称	計画降水量 (m3/S)	計画洪水位 (m)	
		農地	その他	計							

(4)その他

6. 湛水検討

該当なし

(第11表-5)

系統名	受益面積 (ha)	計画洪水量 (m3/S)	既設排水能力 (m3/S)	必要排水能力 (m3/S)	排水方式	標高			湛水状況(許容湛水位以上)			備考
						田面標高	計画外水位	最高外水位	最大湛水面積	計画内水位	最大湛水時間	

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1)道路

該当なし

(第12表-1)

路線名	項目	幅員 (有効)	× 延長 (m)	構 造	既設道路との関係	備 考

(2)索道

該当なし

(第12表-2)

路線名	項目	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図

該当なし

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目 地目名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

2. 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

区分	面積	土壌	pH		置換酸度 (V)	リン酸吸収 係数 (ma/100a)	ha当り所要量			備考
			H O	K C			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当なし

(第14表-1)

地点	流域 面積 (km ²)	洪水 到達時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節の量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3. 貯水池

該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量			計画調節 流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)		有効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	多目的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし
- (3) 洪水調節要領 該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

(第15表)

項目 名称	延 長 (m)	計画高潮水位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画形状

該当なし

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 差 (cm)	備 考

(2) 表土扱い

該当なし

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m3)	備 考

(3) 末端道水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	基 準 雨 量 (mm/day)	単 位 排 水 量 (l/s/ha)	計 画 後 の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方式	備 考
			計						

(2)心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	土壌硬度	備考
	事業名		計			

3. 客土

該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統(区)名	減水深(mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当り 客土量 (m3)	土壌の性質		備考
	事業名		計		現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 [客土材料](%)	

4. 農地保全

(1)防災林

該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考

(2)排水工

該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

尾川池: 134.14mm/hr

(2) 計画洪水量

尾川池: $Q = 1/3.6 \cdot re \cdot A \cdot 1.2 = 1/3.6 \cdot 88.40 \cdot 0.13294 \cdot 1.2 = 3.917m^3/s$

2. 堤体補強計画

尾川池 堤体下流斜面に対し、押さえ盛土を施工し、堤体の安定を図る。また、堤頂幅が必要幅を確保できていない部分について盛土する。

3. 取水施設改修計画

尾川池 底樋出口を改修する。

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称	ため池群勝間田川3期			位置			島田市 尾川 地内		尾川池		備考
	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基盤・地盤地質	貯水量 (千m ³)			
直接		間接	総貯水量					有効貯水量			
堤体	傾斜遮水ゾーン型	0.133		7.5	38.5	4.20		9.8	9.8		
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	備考	
		4.01									越流堰式

2. 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名称	型式	堤体 (m)	位置			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
			堤長 (m)	固定部	可動部				

3. 揚水機

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	

4. 用水路

該当なし

(第17表-4)

項目 水路名	支配面積 (ha)			通水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	地区内	地区外	計		総延長	開渠	その他				

5. その他のかんがい施設

該当なし

(第17表-5)

施設名	項目	構造	規模	数量	備考

第2節 排水水門

1. 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /S)	備考

2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /S)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力	台数 (台)	

3. 排水路

該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /S)	延長 (m)			構造	備考
	事業				総延長	開水路	その他		
	地区内	地区外	計						

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1)道路の総括表

該当なし

(第19表-1)

区分	項目 路線名	幅員 (m) × 延長 (m)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				

(2)道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

路線名	項目 名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

該当なし

(第19表-3)

名称	項目 延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1)抜根

該当なし

(第20表-1)

区分	項目 樹種	樹径 (cm)	ha当り本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2)除礫

該当なし

(第20表-2)

区分	項目 対象土層の厚さ (cm)	ha当り平均除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(3)開墾作業

該当なし

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	造成工法			
	計			

(4)地目変換

該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	計			

(5)末端用水路等

該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6)末端排水路等

該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壌改良

該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石炭量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第5節 洪水調整施設

1. 貯水池 **該当なし**

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工

該当なし

(第21表-1)

名称			位置			計画洪水位 (m)	付帯設備	備考
	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	固定部	可動部	長 (m)			
型式					計			

(2) 導水路

該当なし

(第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		総延長	トンネル	その他			

第6節 干拓施設

1. 堤防

該当なし

(第22表-1)

項目 名称	型式 (m)	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土高 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 附属施設

該当なし

4. 埋立

該当なし

(第22表-3)

項目 名称	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

該当なし

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量 千m ³	面積 (ha)	土量 千m ³	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)		集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
0.0																
計																

(2) 心土破碎

該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

3. 客土

該当なし

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名	計						
計								

4. 除礫

該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当り標準除礫量 (m3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
	計					

5. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
	計						

(2) 排水路

該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
	計				

(2) 侵食防止工

該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考
	計			

第8節 ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	尾川池				位置	島田市 尾川 地内 尾川池		
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)		堤体積 (千m ³)	堤長幅 (m)	貯水量 (千m ³)
堤体	前刃金式	0.133	7.5	38.5	4.20	3.0	9.8	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
	越流堰式	4.01	0.90			ヒューム管巻立	0.060	

2. 堤体補強施設

(1) 堤体改修

.....尾川池 堤体下流斜面に対し、押さえ盛土を施工し、堤体の安定を図る。また、堤頂幅が必要幅を確保できていない部分について盛土する。

(2) 漏水防止工

.....

第6章 附帯工事計画

該当なし.....

第7章 工事の着手及び完了予定時期

着手：令和 6 年度

完了予定：令和 7 年度

第8章 環境との調和への配慮

- ・押え盛土により緑化を促し、ため池と近隣林間の水辺と緑地の連続性を確保する。
- ・本事業の施工により地域農業を支える主水源の耐震性が確保されることで、適切な営農が継続され、水田等に生息する水生生物の生育環境が確保される。
- ・工事施工中の騒音を抑制するため、空ぶかしの禁止やアイドリングストップ等の対策を行う。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

該当なし

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)	備考
計			

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該当なし

2. 清算の方法

該当なし

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
該当なし				

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

事業種目 \ 項目	事業量	事業費	備考
工事費	1.0 式	30,000	
測量及び試験費	1.0 式	5,000	
用地費及び補償費	1.0 式	1,000	
小計		6,000	
合計		36,000	
事務費	1.0 式	1,800	
総事業費		37,800	

第 1 1 章 効 用

(第27表)

事業名	区分	増加見込効果額 (千円)	増加見込所得額 (千円)	備 考
農村地域 防災減災事業 ため池整備事業	営農経費節減効果	378		食料の安定供給の確保に関する効果
	維持管理費節減効果	22		"
	災害防止効果 (農業関係資産)	6,779		農業の持続的発展に関する効果
	" (一般資産)	0		農村の振興に関する効果
	" (公共資産)	0		多面的機能の発揮に関する効果
				総 費 用 (現在価値化) 116,168 千円
				総 便 益 額 (現在価値化) 128,762 千円
				総費用総便益比 1.10
	計	6,379		

第 1 2 章 関 連 す る 事 業

..... 該当なし

第 1 3 章 現 況 ・ 計 画 図 面

..... 1. 計 画 一 般 図

..... 2. 計画平面図・標準横断面図

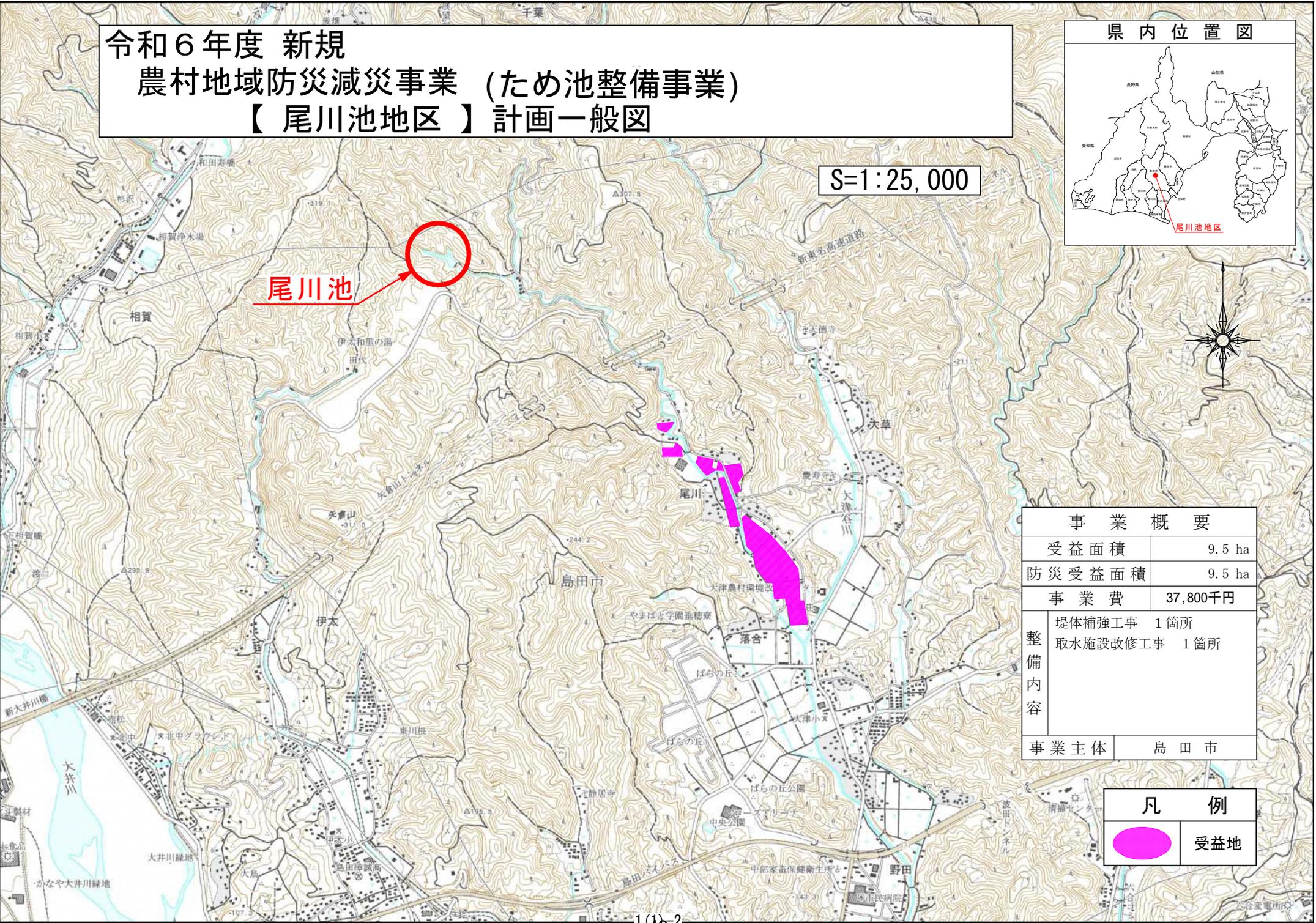
..... 3. 土地 利 用 計 画 図

.....

.....

令和6年度 新規 農村地域防災減災事業 (ため池整備事業) 【 尾川池地区 】 計画一般図

S=1:25,000



事業概要	
受益面積	9.5 ha
防災受益面積	9.5 ha
事業費	37,800千円
整備内容	堤体補強工事 1箇所
	取水施設改修工事 1箇所
事業主体	島田市

凡例	
	受益地

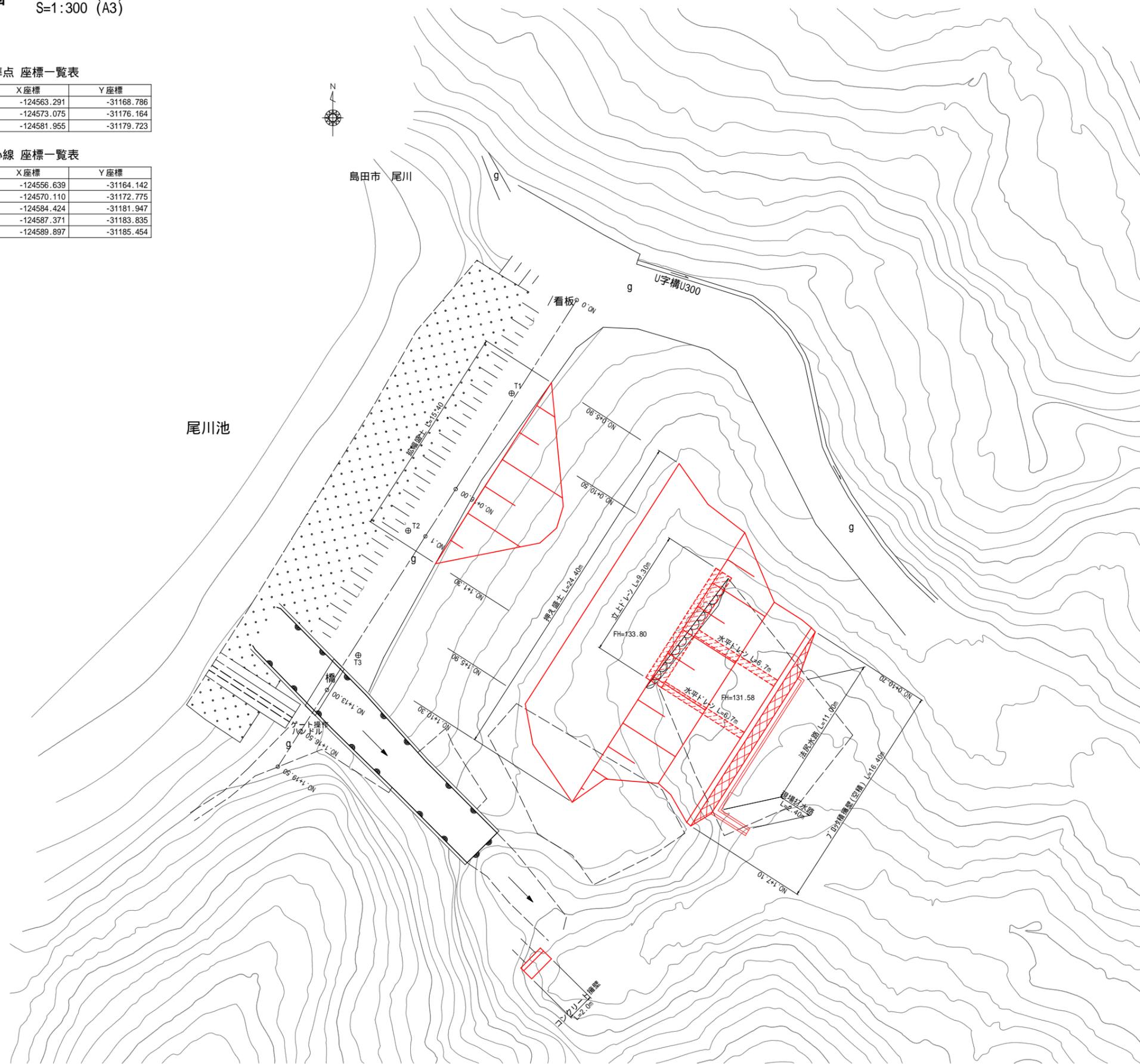
平面図 S=1:150 (A1)
S=1:300 (A3)

基準点 座標一覧表

点名	X座標	Y座標
T1	-124563.291	-31168.786
T2	-124573.075	-31176.164
T3	-124581.955	-31179.723

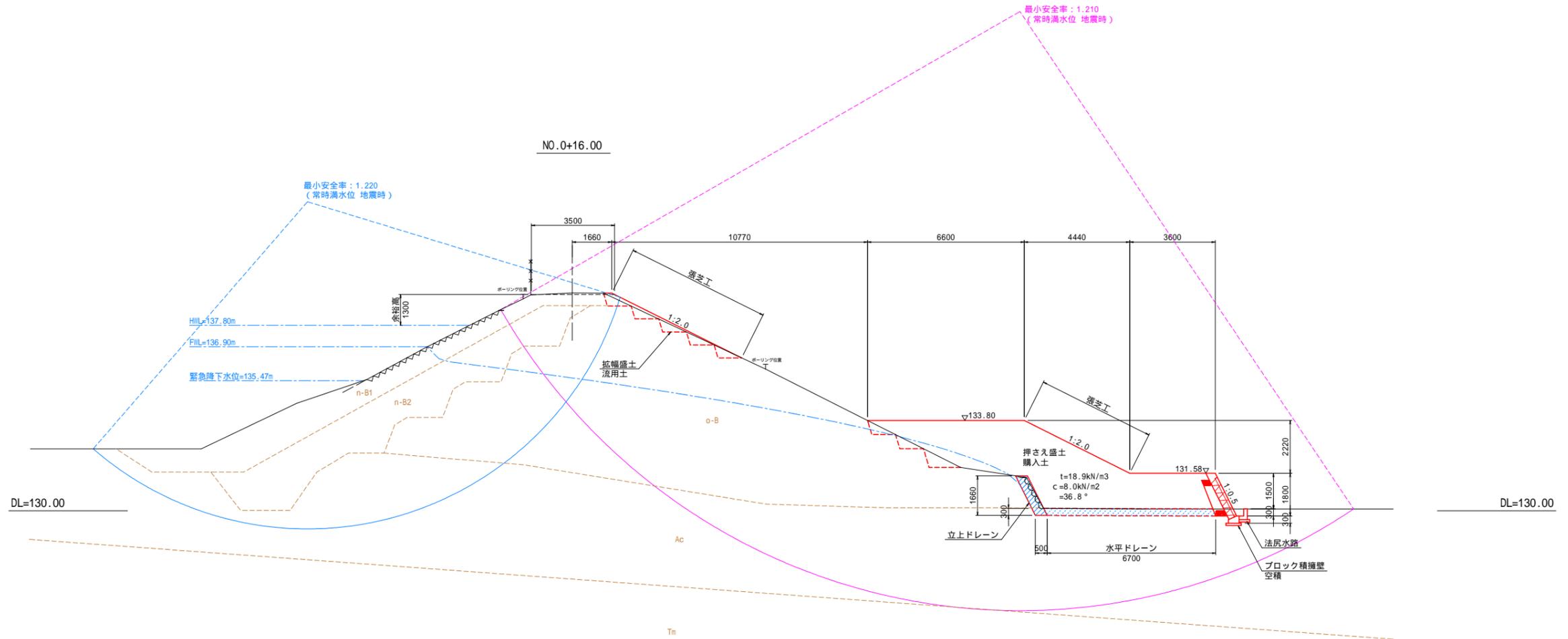
中心線 座標一覧表

点名	X座標	Y座標
NO.0	-124556.639	-31164.142
NO.0+16.00	-124570.110	-31172.775
NO.1+13.00	-124584.424	-31181.947
NO.1+16.50	-124587.371	-31183.835
NO.1+19.50	-124589.897	-31185.454

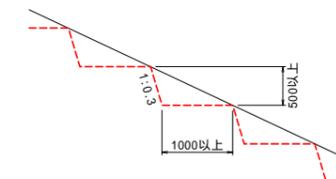


工事名	
工事箇所	島田市 尾川 地内
図面の種類	平面図
縮尺	1:150 (A1) 1:300 (A3)
図面番号	葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	島田市

標準断面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



段切標準断面図 S=1/50 (A1)
S=1/100 (A3)



現況地形勾配が1:4.0より急勾配の場所に盛土を行う場合は段切りを行うこと。

工事名	
工事箇所	島田市 尾川 地内
図面の種類	標準断面図
縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)
図面番号	葉中
測量年月日	設計年月日
事務所名	島田市

島田市土地利用計画図

